

博物館学習ノートの利用の仕方

このノートは、沖縄県立博物館の見学において、展示資料に着目してもらうための補助教材として作成したものです。学校の教科・領域に対応したものもありますが、発展的な内容や関連のあるものも多く入っています。使用にあたっては下記の事項を十分ご検討のうえご活用ください。

ノートの意図

- ・ 当館の「自然史」、「人類」、「考古」、「歴史」、「美術工芸」、「民俗」の各展示室毎の展示内容についての質問形式による記述学習の形態をとっています。
- ・ 展示室やステージで完結する問題が基本となりますが、テーマによっては、各部門展示室と総合展示室を横断的に活用する内容もあります。
- ・ 児童・生徒の実態に合わせて、学校で再編集して活用することが望まれます。

ノート活用の利点

- ・ 見学の視点を押さえることができます。
- ・ 各学年の学習内容と関連した展示を能率的に見学することができます。
- ・ 学習内容の興味づけや発展、復習等に活用できます。
- ・ 事前の下調べや、見学後の発表等に役立ちます。
- ・ ただ見学するだけでなく、考え、記入することで、心に残ることが期待できます。
- ・ 展示資料の時代や背景、それから予想できることなどを、発展的に探求するように方向付けることが期待できます。

効果的な使い方

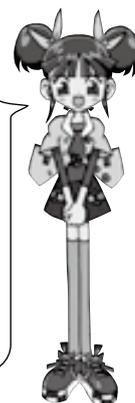
- ・ それぞれのワークシートの右上に展示室地図があります。地図の★印の所が問題の解答が見出せる箇所です。
- ・ 展示場所と関係資料を見つけるために時間がかかる場合があります。地図（6ページ）を裏面に印刷するなどの工夫をすることをおすすめします。
- ・ 利用する問題が多すぎると、記入に時間がかかり見学に余裕がなくなります。
- ・ 1つのページの問題を仕上げるためには 15分～30分かかります。
- ・ 学校の人数規模や学習の進度等、実態に合わせた問題を構成してください。
- ・ 必要なところを複写して利用することができます。また、1つのページを切り貼りして、再構成して活用することをおすすめします。
- ・ ワークシートの問題によっては、小人数しか立てない所もあります。全体を見る問題と部分を見る問題を組み合わせることをおすすめします。

博物館での見学マナー



博物館には、沖縄に関する多くの資料が展示されておって、それを観にたくさんの方々が博物館を訪れるんじゃよ。皆が気持ちよく見学するために、そして、展示品を守るために、いくつかのマナーがあるんじゃ。

博物館を訪れている方々も、私たちが気持ちよく見学できるように、マナーをしっかり守らなきゃね！



1

走らないようにしましょう。



2

大きな声を出さないようにしましょう。



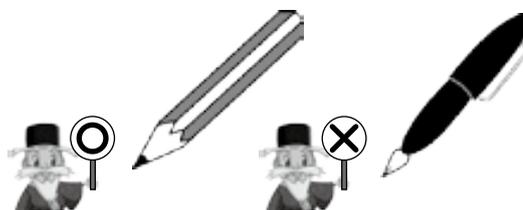
3

飲み物や食べ物を持ち込まないようにしましょう。



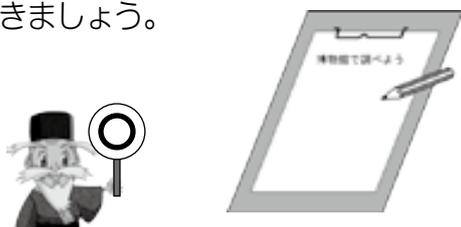
4

メモを書く時は、鉛筆を使いましょう。
(※資料を守るため)



5

メモは、探検バックかファイルの上で書きましょう。



6

展示品には触らないようにしましょう。



7

写真の撮影が認められたとき（場所）でも、フラッシュの光が展示品に悪影響を与えます。フラッシュはたかないようにしましょう。

